## 令和6年度 シラバス

教	科	農業	学科•	学年	生産科学科	第2学年	単位数	2単位		
			教科	書	野菜(実教出版)					
科	目	野菜	副教	材	なし					
科目0	り目標	野菜の生産と経営に必要な資質・能力の育成を目指します。 (1)野菜生産と経営について、体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けます。 (2)野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や関連産業に携わるための合理的かつ創造的に解決する力を養います。 (3)農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。								
評価の観点		知識・技術【知	【知】  思想		ぎ・判断・表現【思	思】 主体的に	主体的に学習に取り組む態度 【主】			
趣	∬田	野菜の各分野について作 系統的に理解するとともに する技術を身に付けている	乙、関連	業人に対合理的が	こ関する課題を発見し 求められる倫理観を路 かつ創造的に解決する けている。	当まえ自ら学5力をに主体	よりよい社会の構築を目指して 自ら学び、野菜の振興や社会貢献 に主体的かつ協働的に取り組む態 度を身に付けている。			

	·					•	
兴			評価の観点		点		
学期	学習内容	学習活動・学習のねらV	知			評価規準	評価方法
	第1章 野菜生産の役割と動向 1 野菜の種類と特徴	食生活や地域の野菜 栽培などの実態と変化	0			野菜の生理・生態や生育環境などの野菜生産に必要な基礎的知識と技術を身に付けている。	・授業(座学)・
	(1) 野菜の種類と利用 (2) 野菜の分類	を踏まえた具体的な事			<u> </u>	野菜経営に関する知識と技術を身に付けている。	
	2 野菜の消費	例を通して、野菜の生				授業内容を正しく理解し、実習	実習への取り組み
	(1) 消費動向の変化(2) 野菜の消費量	産と利用,野菜の需給				等に意欲的に取り組む力を身に付けている。	・観察・調査・実
-	(3) 消費の多様化	の動向及び野菜生産と		0		野菜生産の特性と栽培技術に関する課題を発見し、科学的な根拠	
学	3 野菜の生産と供給	自然環境との関係につ				に基づいて創造的に解決できる力	w ・ペーパーテスト
期	(1) 野菜の生産と供給のしくみ	いて学習させ、野菜生				を身に付けている。	・レポート等の提
·	(2) 野菜栽培の生産と供給のしくみ	産の役割と特性につい				意欲的に授業に取り組み、知 識・技術を習得している。	出
	(3) 野菜の輸入(4) 野菜の流通	て理解する。					山 ・各管理作業の目
	4 野菜の安全性					野菜の生産や経営に関する諸課題 を主体的に解決する態度を身に付	
	(1) 安全・安心な野菜(2) 環境にやさしい野菜					けている。	ロリックが天時
	栽培(3)生活のなかの野菜栽培						
	第2章 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術	観察や実験・実習を				野菜の生理・生態や生育環境などの野菜生産に必要な基礎的知識	<ul><li>・授業(座学)・</li></ul>
	1 野菜の生育と生理	通して、野菜の特性と	0			と技術を身に付けている。	実習への取り組み
	(1) 野菜の生育(2) 種子と発芽	栽培環境の相互関係か				野菜経営に関する知識と技術を 身に付けている。	方
_	, , == ,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ら野菜の生育と環境の				授業内容を正しく理解し、実習 等に意欲的に取り組む力を身に付	・観察・調査・実
	生産(5)根の発達と肥大(6)葉菜類の花芽形成	調節について理解さ				けている。	験
学	と抽だい	せ、野菜生産に関する		0		野菜生産の特性と栽培技術に関する課題を発見し、科学的な根拠	・ペーパーテスト
期		科学的な見方と実践力 を養う。				に基づいて創造的に解決できる力 を身に付けている。	・レポート等の提
	(1) 光環境とその調節 (2) 温度環境とその調節	を食り。				意欲的に授業に取り組み、知	出
	(3) 湿度環境とその調節					識・技術を習得している。 野菜の生産や経営に関する諸課題	・各管理作業の目
	(4) 風・ガス環境とその調節					を主体的に解決する態度を身に付けている。	的の理解
	第3章 野菜の育苗	各生育段階の環境要素 並びに栽培環境と生育の				野菜の生理・生態や生育環境な	
	1 育苗の目的と方法 (1) 杏井の芳葉 (1) 杏井の芳葉 (1)	調節など野菜栽培の技術	0			どの野菜生産に必要な基礎的知識 と技術を身に付けている。	大水 (土1)
	(1) 育苗の意義と良苗の条件(2) 育苗・苗生産	の仕組みについて学習				野菜経営に関する知識と技術を 身に付けている。	
	の歴史と現状 (3) 野菜苗の育苗方法 2 育苗技術の実際と応用	し、野菜の各生育段階に				-	方
三	2 育田技術の美際と応用 (1)育苗培地の種類と作成法	おける環境要素の作用に 関する知識を習得させ、				授業内容を正しく理解し、実習 等に意欲的に取り組む力を身に付	
学		温度,水,日照,土壤,		0		けている。 野菜生産の特性と栽培技術に関	験
期	木育苗技術(4)セル成型苗生産とその利用	栄養などの各環境要素や				する課題を発見し、科学的な根拠	<ul><li>ペーパーテスト</li><li>レポート等の提</li></ul>
		成長調節物質が野菜の生 育に影響を与えること及				に基づいて創造的に解決できる力 を身に付けている。	・レホート寺の徒出
		育に影響を与えること及 び肥培管理などの管理方				意欲的に授業に取り組み、知	四 ・各管理作業の目
		法が野菜の生育を調節す			0	識・技術を習得している。 野菜の生産や経営に関する諸課題	
		ることを理解する。				を主体的に解決する態度を身に付けている。	ロッマンとエハヤ
<u> </u>						りている。	